

2025年2月

「2025年度奨学生願書」の作成要領

公益財団法人 日本証券奨学財団

学生のみなさんへ

本財団の奨学金に応募する場合は、指定大学の推薦を受ける必要があります。募集要項を確認のうえ、学内の応募(募集期間や募集方法等)については、所属大学の奨学金担当に確認してください。推薦を受けた方は大学を通して応募(提出)してください。

1. ページの構成

書類名	ページ	作成者
奨学生候補者推薦書	P.1	推薦指定大学の学(総)長
奨学生願書	P.2~5	学生(応募者)
指導担当教員所見	P.6	指導担当教員
個人情報の利用に関する同意書	P.7	学生(応募者)

2. 学生(応募者)が作成する提出物について

- ① P.2~3の入力欄(青色のセル)に入力のうえ、P.2~5、P.7をA4片面印刷(白黒またはカラー)してください。
- ② 印刷物にページ崩れやページ漏れがないことを確認してください。
- ③ 以下の内容を確認のうえ、添付書類(「募集要項」の「5.応募方法」参照)と併せて大学を通して提出してください。

書類名	ページ	提出物	注意事項
奨学生願書	P.2	入力欄(青色のセル)に入力して印刷したものに、自署、押印、写真貼付(画像挿入不可)したもの(紙)	紙とデータ(word)は必ず同じ内容であること
		入力したデータ(word)	
	P.3	入力欄(青色のセルの3.②のみ)に入力して印刷したものに、3.②以外の欄に記入したもの(紙)	
入力したデータ(word)			
	P.4~5	記入したもの(紙)	入力不可
個人情報の利用に関する同意書	P.7	記入、押印したもの(紙)	入力不可

P.2~5「奨学生願書」の入力及び記入例は以下のとおりです。

「募集要項」を確認し、奨学金の趣旨や本財団の求める人物像について理解したうえで応募すること

2025年 4月 X日

奨 学 生 願 書

公益財団法人 日本証券奨学財団
理 事 長 殿

私は、貴財団の奨学生募集要項に記載されている「将来社会の各分野において指導的役割を担う志のある」学生ですので、貴財団の奨学生に採用いただきたく以下のとおり応募いたします。

当年度4月1日以降の月日を記入すること

以下、青色の塗りつぶしセルは全て(氏名欄の「中間(Middle)」はある場合のみ)入力すること

1. 応募者

院 日本証券大学大学院
研究科 証券学研究科
専攻 証券学専攻
年 1年
修了予定年月 20XX年3月

氏名(本人自署)
証券 花子

紙に自署すること(入力不可)

〇〇研究科まで入力すること

〇〇専攻まで入力すること
無い場合は「—」と入力すること

最短修了年限を入力すること

名	氏 Last(Family)		名 First		中間 Middle (ある場合のみ)
	証券	花子			
ふりがな	しょうけん	はなこ			
年齢	2025年4月1日現在 25 歳	生年月日(西暦)	200X 年	0 月	0 日
性別	女	国籍	日本		

当年度4月1日現在の年齢
※応募対象者は28歳以下

写真貼付(4cm×3cm)
(画像挿入不可)
・上半身・無帽
・6か月以内の撮影
・裏面に大学名と氏名を記入
・カラー

現住所が住民票等と異なる場合は、大学発行の「居住証明書」を添付すること

2. 応募者の連絡先

郵便番号	000-0000	都道府県	東京都
現住所(注1)	市区町村・番地 中央区日本橋茅場町1-5-8	部屋番号まで入力すること	
建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号	自宅・自宅外の別(注2)	自宅
電話番号	固定 03-3664-7113	携帯	090-0000-0000
E-mailアドレス(注3)	jssf.office@jssf.or.jp, jssf.office123@jssf.or.jp		
扶養者住所(注4)	郵便番号	都道府県	東京都
電話番号	市区町村・番地	中央区日本橋茅場町1-5-8	
	建物名・部屋番号	東京証券マンション 303号	電話番号
			03-3664-7113

(注1) 現住所が住民票等と異なる場合は、大学が発行する「居住証明書」を添付してください。
 (注2) 現住所が扶養者住所と同じ場合は「自宅」、相違の場合は「自宅外」と入力してください。
 (注3) E-mailアドレスは日常的に使用するものをすべて「」で区切って入力してください。
 (注4) 扶養者(学生・無職)は「扶養者住所」の全ての欄に「-」と入力

常時使用するEmailアドレスを必ず1つ以上入力すること
複数ある場合は「,」で区切る

扶養者と同居の方は「自宅」
扶養者と別居の方は「自宅外」
※奨学金月額に関係しますので、正確に入力すること
※独立生計者の場合は「自宅」

扶養者と同居であっても必ず入力すること
扶養者が海外に居住している場合も必ず入力すること
(空欄としないこと)

「3. 研究の状況と将来計画(②を除く)」～「7. 本年度の経済状況」は自筆で記入すること

3. 研究の状況と将来計画

本財団の求める人物像や奨学金の趣旨を理解したうえで記入してください

① 指導担当教員の氏名・職名	
② 研究テーマ	本欄は入力すること
③ 研究の背景	

自筆で記入すること
(PCでの入力不可)

空白期間の無いよう、浪人期間や休学期間、職歴等がある場合は必ず記入すること

本人からみて生存する二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入すること

応募者が独立生計者の場合は、扶養者の欄は全て「-」を記入すること

6. 家族の状況及び家庭の実情

(1) 家族の状況

続柄	氏名	年齢	自立・勤務・学生・無職の別	扶養者と同居・別居の別
扶養者 父	証券 父郎	55	勤務	-
母	証券 母美	50	無職	同居
兄	証券 兄也	25	勤務	別居
姉	証券 姉菜	22	無職	別居
弟	証券 弟太	17	学生	同居
妹	証券 妹香	15	学生	同居
祖父	証券 祖父郎	80	無職	別居
祖母	証券 祖母子	75	無職	同居

(注) 応募者本人の二親等以内の者全員(同居、別居問わず)及び、扶養者と同居している親族全員を記入してください。(記入欄が不足の場合は別紙使用可)
 ※ 記入した者全員の住民票の写し(コピー不可)等を提出してください(別家計の者を除く)

(2) 家計の状況(世帯収入): 7,000 千円(年)

(1)の記入例の場合は、本人及び同一家計の父、母、弟、妹、祖母の住民票等※を添付すること
※募集要項の「5.応募方法」の③参照

扶養者と同一家計の者の収入の合計額を記入すること
(各種年金の受給額や不動産収入等も含む)

(2)の記入例の内訳
 ・扶養者
 →父…勤務の年収が6,000千円
 ・同居(同一家計のため合算要)
 →母、弟、妹…収入0円
 →祖母…年金を年額1,000千円受給
 ・別居(別家計のため合算不要)
 →兄、姉、祖父

本財団の奨学金を必要とする家庭環境について、記入できる範囲で(1)(2)を補足すること
記入すべき事項が無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

※世帯収入が一般的に高いと思われる場合でも支援が必要である状況等
 ※世帯収入以外で公的支援等を受けている場合や、親族から援助等を受けている場合等

4. 履歴(高等学校卒業校以降)

年(西暦)	月	学歴・職歴(アルバイトを除く)
2XXX	3	〇〇県立〇〇高等学校 卒業
2XXX	4	〇〇予備校 入学
2XXX	3	〇〇予備校 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 入学
2XXX	3	〇〇市立〇〇大学 〇〇学部 卒業
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 修士課程 入学
2XXX	3	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 修士課程 修了
2XXX	4	〇〇市立〇〇大学大学院 〇〇研究科 博士課程 入学

(注) 空白期間のないように記入してください(高校は〇〇県立、〇〇市立、私立などの別を記入)

記入すべき事項が無い場合はそれぞれの欄に「なし」と記入すること(空欄としないこと)

(3) 家庭の実情(家族の経済状況、健康状態、その他特記事項)

自筆で記入すること
(PCでの入力不可)

(重要)日本学生支援機構(給付型)の授業料免除を受給(申請)する方は、本財団の奨学金に応募できません

7. 本年度の経済状況
(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請を含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型) (申請予定・申請を含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1) (申請予定・申請を含む) ※本財団は、本財団に事前に承認を得たものに限り使用可	50 千円
貯蓄(目的:留学)	100 千円		

無い場合は「なし」と記入すること(空欄としないこと)

(3) その他、過去に奨学金等を受給している場合は、その内容を記入してください

202X年4月から202X年3月まで日本学生支援機構貸与型奨学金100万円受給

P.7 「個人情報の利用に関する同意書」

内容を確認のうえ、枠内の必要項目に記入(入力不可)及び押印すること

202X年 4月 X日

公益財団法人 日本証券奨学財団
理事長 殿

私に関する個人情報を上記のとおり取り扱うことに同意します

大学名 **日本証券大学大学院**
本人署名 **証券 花子**

(重要)「他の奨学金等」の併願及び供給については、大学を通して財団から併願及び供給の承認を事前に受けること
※募集要項の「4.応募対象者」の(3)参照

応募者の今年度の経済状況の見込み額を年額で記入すること

7. 本年度の経済状況
(1) 本年度の支出・収入に係わる年間見込み額

支出		収入	
授業料・入学金設備費等大学への納付金	560 千円	所属大学・大学院による授業料免除または減免(申請を含む)	560 千円
食費(自宅通学者は外食分)	120 千円	同一家計の家族からの仕送り等	150 千円
住居費(光熱費を含む) ※自宅通学者は0	0 千円	本人(アルバイト)	60 千円
交通費(通学費)	60 千円	本人(貯蓄)	0 千円
通信費(電話、インターネット代)	30 千円	日本学生支援機構(貸与型) (申請予定・申請を含む)	150 千円
教材費	100 千円	他の奨学金等(注1) (申請予定・申請を含む) ※本財団は、本財団に事前に承認を得たものに限り使用可	50 千円
貯蓄(目的:留学)	100 千円		
その他(目的:)	千円		千円
その他(目的:)	千円		千円
合計(注1)	970 千円	合計(注1)	970 千円

大学独自の授業料免除を記入すること
(日本学生支援機構(給付型)は併願・供給不可)

日本学生支援機構(貸与型)と他の奨学金等の詳細を下の表に記入すること

複数ある場合は合計額

収入と支出の合計額は、正しく計算し記入すること
・同額であること

(注1) 原則、本財団の奨学金応募時において、他の奨学金等と併願・供給を認めていないため、本財団は特別(申請に本財団から併願・供給等の承認を受けたもの)に限り使用してください
(注2) 収入と支出の合計が同額になるように記入してください
(記入額が不足の場合は別紙使用可)

(2) 上表の「日本学生支援機構(貸与型)・他の奨学金等」欄に記入している場合は、詳細を記入してください

団体名及び奨学金の名称	年額	貸与・貸与の別	受給期間	申請予定・申請中・決定・受給中の別
日本学生支援機構	150 千円	貸与	202X年 4月 ~202X年 3月	申請中
日本証券大学〇〇奨学金	50 千円	給与	202X年 4月 ~202X年 3月	決定
			20 年 月	
			20 年 月	

受給の可能性のある、上の表の「収入」の「日本学生支援機構(貸与型)」及び「他の奨学金等」欄の詳細を記入すること

年額で記入すること

日本学生支援機構の貸与型は併願・供給可の給付型は併願・供給不可

以上